

世界史

(問題)

2014年度

<2014 H26080111>

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

以下の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

前近代の世界では、ある国が、明確に定義された国境によって取り巻かれた領土をもつことは、ほとんどなかったと思われる。東アジアにおいてもそれは同様であった。中国の諸王朝には、『詩経』に「普 ^a 之 ^b，莫非王土」とあるように、皇帝の権威は ^a ^b，つまり世界全体に及ぶべきだという思想があり、そもそも国境という観念は希薄であったが、まったく存在しなかったわけではない。たとえば、9世紀前半に唐と吐蕃が結んだ会盟の内容を刻した石碑には、今後互いに国境を侵犯しないことがうたわれている。また、南宋と金が1142年に結んだ和議においては、^eが国境とされた。このように、隣接勢力との間に紛争がある場合は、必要に応じて部分的に国境が定められることもあったが、国土全体を国境で囲むまでには至らなかった。

最後の王朝である清になっても、18世紀までは基本的な状況は変わらなかったが、国境の画定が次第に普遍化する傾向も認められる。たとえば、^fとの間では、鴨緑江と豆満江（図們江）が伝統的に国境と認識されていたが、二つの川の水源地帯の境界は不明瞭だった。ところが、この地域で人参の採取などをめぐる紛争が頻発したので、1712年に国境を示す石碑が立てられた。また、雍正帝のとき、ベトナムとの間でも、銅山開発をめぐる争いを契機として国境の石碑が設置された。ただし、これらの国境は必ずしも明確な線として画定されたわけではなく、警備も厳重ではなかった。一方、ほぼ同じ時期にキャフタ条約で画定されたロシアとの国境は、ある程度精密に定義されたものであった。

19世紀後半になると、ヨーロッパ諸国による中国周辺地域の植民地化にともなって、国境の画定・再画定が広範囲にわたって進行する。たとえば、雲南とビルマ（ミャンマー）の間にはもともと明確な国境はなく、現地住民の中には、清とビルマの双方に従属するものもいた。18世紀後半にビルマの王朝が勢力を拡大すると、清との間に紛争が発生し、1769年に和議が結ばれたものの、明瞭な国境の画定には至らなかった。本格的な国境画定が進められるのは、1880年代にイギリスがビルマを併合した後のことである。

A 下記の問い1～6に対する最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部dの背景・内容に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ 宋の宰相岳飛が、主戦派の秦檜らを抑えて和議を主導した。
- ロ 宋と金の皇帝の間では、前者を兄、後者を弟と称することになった。
- ハ 宋は毎年銀25万両、絹25万匹を金に贈ることになった。
- ニ 金に拉致されていた宋の前皇帝欽宗が宋に戻された。

2 下線部gの時期の政策・出来事として、適切なものはどれか。

- イ 漢倭併用制の廃止
- ロ 『四庫全書』の編纂
- ハ キリスト教布教の禁止
- ニ 『皇輿全覽図』の完成

3 当時の下線部hに関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 黎朝の王都は北部のハノイ（東京）にあった。
- ロ 黎朝の王権は形骸化し、鄭氏が実権を握っていた。
- ハ 西部は黎朝に対して反乱を起こした西山党の支配下にあった。
- ニ 南部は阮氏（広南王国）の支配下にあった。

4 下線部iに関する記述として、適切なものはどれか。

- イ この条約が締結されたときのロシアの皇帝は、ピョートル1世である。
- ロ この条約で定められた国境の大部分は、現在のモンゴルーロシア間の国境と一致する。
- ハ この条約で定められた国境の西端は、現在のカシミール地方にある。
- ニ この条約によって、天津・上海などの港へのロシア船の来航が認められた。

5 下線部jに関する記述として、適切なものはどれか。

- イ 17世紀後半、この地域に本拠をおく呉三桂が三藩の乱を起こした。
- ロ 18世紀末、この地域を中心として白蓮教徒の乱が起こった。
- ハ 19世紀中ごろ、洪秀全がこの地域で拳兵し、太平天国と称した。
- ニ 19世紀末、義和団がこの地域で拳兵し、北京に向けて進軍した。

- 6 下線部kに関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ アラウンバヤーによって1750年代に創立された。
 - ロ 1760年代にタイのアユタヤ朝を滅ぼした。
 - ハ 19世紀初めにアッサム地方に勢力を伸ばした。
 - ニ 王都は1850年代からラングーン（ヤンゴン）におかれた。

B 下記の問い1～4について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 空欄 a, b に当てはまる漢字（それぞれ1字）は何か。
- 2 下線部 e の石碑は複数作られたが、そのうち吐蕃の王都に立てられたものが現存する。その都市名は何か。
- 3 空欄 e に当てはまる河川名は何か。
- 4 空欄 f に当てはまる国名は何か。

II

以下の文章を読み、下記A, Bに答えよ。

数えあげると、アテナイではこれまで11回の体制の変化があった。最初の変化は、太古の時代にイオンとその仲間たちが、アテナイに集まり住むようになった時に起った。この時初めて、ひとびとは4つの部族に分けてまとめられ、それぞれに部族王が任命された。第二は、テセウスの時代の変化であり、かなり大きな国制の改革が行われ、本来の王制から少し外れていくことになった。その後、a の時代に、初めて法が成文化された。第三は、市民同士の騒乱の後に現れたソロンの体制であり、そこから初めてb 政治の端緒が開かれた。第四は、ペイシストラトスのc 政治の時代である。第五は、ペイシストラトスとその息子たちのe 政治が倒れた後のd による体制であり、ソロンの体制よりもb 的になった。第六は、ペルシア戦争後の体制であり、この時の改革はまだf の監督のもとで行われた。第七の体制は、(中略) エフィアルテスがこのf から政治的実権を奪った政変の後の体制である。この体制のもとでアテナイは、g たちの活動によって、きわめて多くの政治的失策をおかすことになった。これには当時のアテナイが、^h海の支配を行っていたという原因もある。第八は、四百人の体制であり、これに次ぐ第九の体制として、ふたたびb 政治が行われた。(中略) 第十一は、フェレーおよびペライエウスからひとびとが帰還した後の体制である。それ以来、今日まで現在の体制が続いており、大衆がますます多くの職務や権限を手にするようになってきている。というのも、民衆はすべてに対する最終決定者となり、自らが実権を握るi の決議と民衆裁判所の判決によって、万事を取り仕切っているからである。

(出典：アリストテレス『アテナイ人の国制』第41章より、一部改変)

A 下記の問い1～5について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

- 1 空欄 a に当てはまる人名は何か。
 - イ リュクルゴス ロ レオニダス ハ ドラコン ニ ミノス
 - 2 空欄 d に当てはまる人物が行ったことは何か。
 - イ 部族制の再編 ロ アルコン制の廃止 ハ 陶片追放制の廃止 ニ ファランクス戦法の開始
 - 3 下線部 e 中に起った①～④の戦闘を時系列に並べるとすれば、適切なものはどれか。
 - ① スパルタの将軍パウサニアスが指揮するギリシア連合軍が、ブラタイアでペルシア軍を撃破した。
 - ② アテナイを中心とするギリシア連合軍の艦隊が、アテナイ西方の海峡（水道）でペルシア艦隊を撃破した。
 - ③ ミルティアデスが指揮するアテナイの重装歩兵軍が、アテナイ北東の地に上陸したペルシア軍を破った。
 - ④ テッサリアを南下し中部ギリシアへ向け進軍するペルシア軍が、ギリシア軍を破り、スパルタ王が戦死した。
- イ ①→③→②→④ ロ ①→③→④→② ハ ②→③→④→① ニ ③→④→②→①

4 空欄 f に当てはまる語句は何か。

イ 五百人評議会 ロ アレオパゴス評議会 ハ ヘラス同盟 ニ 隣保同盟

5 下線部 h を成立させていた軍事同盟の金庫を前454年にアテナイへ移した政治家は誰か。

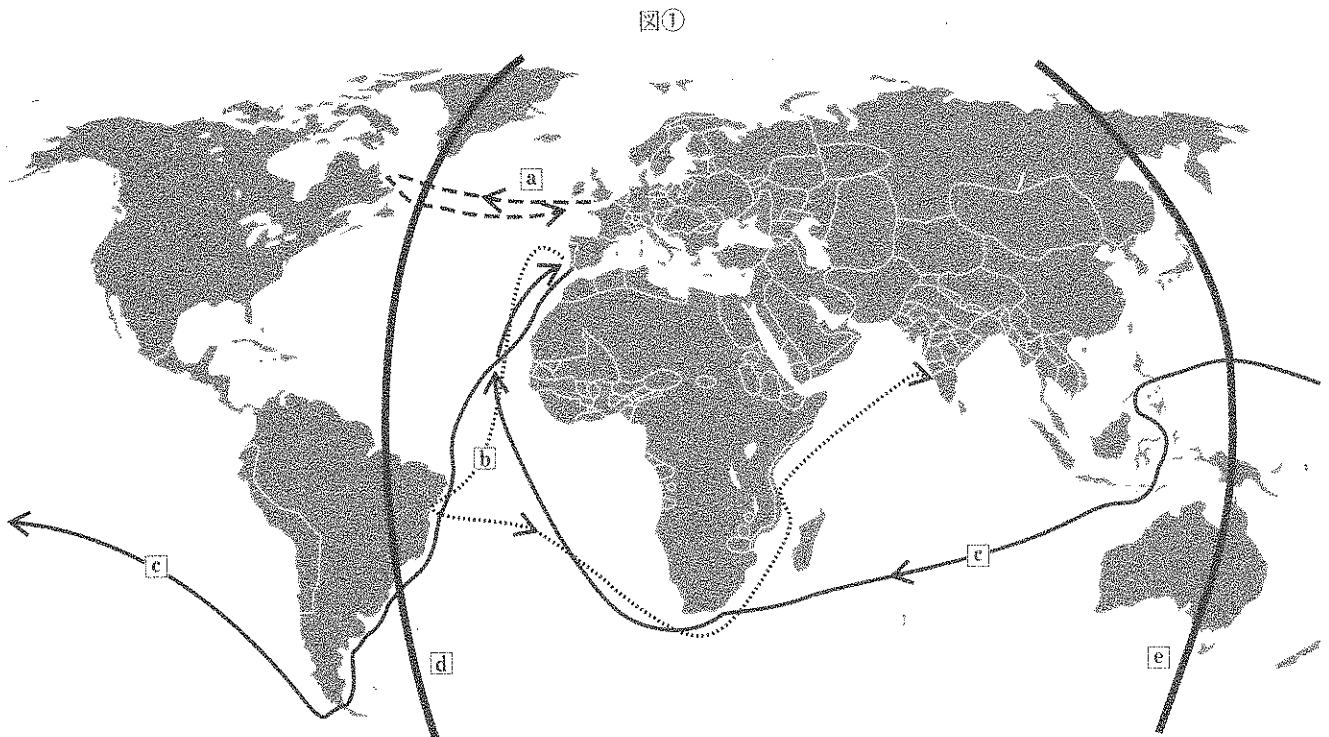
イ アナクレオン ロ キュロン ハ テミストクレス ニ ペリクレス

B 下記の問い1～4について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 空欄 b に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。
- 2 空欄 c に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。
- 3 空欄 g に当てはまる語句をカタカナで記せ。
- 4 空欄 i に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。

III

以下の大航海時代の世界地図①と文章②と③に関連している、下記A、Bの問いに答えよ。



(出典：http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Explos.png, 一部改変)

- ② f 家はジョヴァンニニ＝ディ＝ピッチの代に金融業で財をなし、その息子の時代には家業が隆盛をきわめ、ヨーロッパの有数な大富豪となった。同家はピエロの時代に家業が一時破綻するが、当主が弟のジョヴァンニに受け継がれ、再び栄える。ローマ教皇になったジョヴァンニには g の建築費に充てるためにフッガー家を通じて贖宥状の販売を認めたことなどにより悪評がたち、宗教改革の契機となった。こうして、旧来のカトリック教会の教義や制度に対する批判がドイツ、スイス、イギリスなどで盛んになった。
- ③ 古典文化に傾倒し、それを模範として、中世の教会的権威や禁欲主義的道德観から解放され、自然な人間性や合理的なあり方を求めた人々はイタリアに限らず、その他のヨーロッパの国にもみられた。イギリスの法学者でもあった i もその一人であったと言ってよい。かれは『愚神礼賛』の筆者とも親交があり、国王の離婚に反対したことでもよく知られている。

A 下記の問い1～7について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 図①の記号aの航海ルートを通ったイタリア人航海者はだれの後援を受けたか。

イ ジョアン2世 □ エンリケ航海王子 ハ マヌエル1世 ニ ヘンリ7世

2 図①の様々な航海あるいはその後の航海でヨーロッパに持ち帰られた香料のうち、原産地がアジア地域以外のはどれか。

イ オールスパイス (三香子/百味胡椒) □ クローヴ (丁子)
ハ シナモン (肉桂) ニ ナツメグ (肉豆蔻)

3 図①に関連している、以下の出来事a～eを年代順に並べるとすれば、適切なのはどれか。

- a アレクサンデル6世が教皇子午線を設定した。
- b cの航海ルートを通った船団がスペインに帰着した。
- c ポルトガル艦隊がマムルーク朝艦隊をディウ沖で撃破した。
- d bの航海ルートを通ったカブラルがブラジルに漂着した。
- e コロンブスがバハマ諸島に到着し、インドの一部と信じた。

イ e→a→b→c→d □ e→a→d→c→b ハ d→c→b→e→a ニ d→e→a→c→b

4 文章②の f 家は建築家を支援して宗教施設の建築に助力したり、多くの芸術家を後援したりしたことで知られている。以下の人物のうちで出自が f 家ではないのはどれか。

イ 教皇レオ10世 □ アンリ2世紀カトリーヌ
ハ トスカーナ大公ゴジモ (コージモ) 1世 ニ ロドヴィゴ=スフォルツァ

5 文章②の下線部hに関連している、以下のイングランドについての記述のなかで誤っているのはどれか。

- イ ウィリアム3世とメアリ2世の共同統治において、議会は国教徒以外のプロテスタントにも信教の自由を認め、宗教的融和をはかる法を制定した。
- ジェームズ2世はカトリックを容認し、復活をはかったが、議会はこれに対抗して審査法を制定した。
- ハ メアリ1世は新教徒を弾圧した熱心なカトリック教徒で、スペイン皇太子フェリペと結婚した。
- ニ チャールズ1世は、議会を無視し、専制政治を行い、スコットランドにも国教を強制しようとしたが、失敗した。

6 文章③の i がその著書の中で批判しているとされている、当時のイングランド農業における変化の原因として、以下の中で最も適切なのはどれか。

イ 穀物生産の拡大 □ ノーフォーク農法の導入 ハ 羊毛・毛織物の需要増加 ニ 木綿工業の発達

7 文章②の下線部hに関連している、以下の出来事a～eを年代順に並べるとすれば、適切なのはどれか。

- a ユグノー戦争が始まった。
- b 下線部jが執筆された。
- c ルイ13世が即位した。
- d ナントの勅令が発布された。
- e モンテーニュが亡くなった。

イ b→a→e→d→c □ b→a→c→d→e ハ a→b→c→d→c ニ a→b→c→d→e

B 下記の問い1～4について最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

1 図①の記号dとeの分界線を定めた条約はそれぞれ何と呼ばれているか。

2 文章②にある f 家の後援で、サンタ=マリア (デル=フィオーレ) 大聖堂のドームを設計した建築家はどれか。

3 もともと聖職者が起用されていたが、法律の精通者が就くようになった官職で、文章③の i が就いた最高の官職は何か。

4 文章②の g の建築物の名称は何か。

以下の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

プロイセンは、もとはドイツ騎士団によって征服されたバルト地方の部族の名称だったが、ドイツ騎士団長がルター派に改宗して公国となると、国家の名称となった。やがてプロイセン公国は 家が支配する 辺境伯（選帝侯）領と統合され、1701年には王国に昇格した。プロイセン王国は、フリードリヒ2世（大王）の治世にシュレジエン地方を併合したことにより、ヨーロッパの列強の一つとしての地位を占めるにいたった。

しかし、ナポレオンの時代にプロイセンはナポレオンに戦いを挑んで敗れ、多くの領土を失って列強の地位から転落した。この事態を出発点として、改革派の官僚たちが主導するプロイセン改革が行われ、国家と社会の近代化に向かう道が整えられた。そしてナポレオンがロシア遠征に失敗したのをとらえて他の同盟諸国とともにナポレオンを打倒し、ウィーン会議で列強としての地位を回復した。神聖ローマ帝国最末期の領域にもとづいて結成されたドイツ連邦の中で、プロイセンは、メッテルニヒ時代には基本的にオーストリアとの協調関係を維持していたが、1848/49年の革命でドイツを統一する可能性が浮上すると、多民族帝国のオーストリアよりも「ドイツ的」な国として統一の中核となることが多くの人びとから期待されるようになった。統一ドイツの憲法の制定をめざしたドイツ国民議会は、オーストリアを含めることを断念し、プロイセン王の を皇帝に選出したが、彼は革命による帝冠を拒否した。その後、プロイセン王は1849年から1850年にかけて、革命によるのではなくて君主たちの同盟による連邦国家の建設をめざしたが、オーストリアと、オーストリアを支持したロシアに阻まれて実現できなかった。

1850年代のプロイセンは、国内政治の面では停滞していたが、経済や国際政治の面で大きな変化が生じ、それらがドイツ統一の実現を可能とする条件をつくり出していった。経済においては、この時期からドイツの地域でも本格的な工業化が開始し、その過程で、中欧で最も重要な炭鉱地帯に成長していった 地方が、同様に豊富な石炭資源を有するシュレジエン地方とともにプロイセン領であったためもあって、プロイセンとオーストリアとの間の経済的な格差が拡大した。国際政治においては、クリミア戦争の影響が大きい。オーストリアは外交政策を大きく転換させて、イギリス・フランスと同盟を結んでロシアの怒りを買ったが、参戦するにはいたらなかったため、イギリス・フランスとの絆がとくに深まることもなかった。結果的にオーストリアは孤立した。そのような状況を土台として、1860年代におけるプロイセンによるドイツ統一政策が展開していったのである。

A 下記の問い1～5について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部 e の出来事よりも前に起こったのは、どれか。

- イ ウェストファリア王国の成立 □ トラファルガーの海戦
ハ ワルシャワ大公国の成立 ニ ジョゼフ＝ボナパルトのスペイン王即位

2 下線部 d の改革についての説明のうち、誤りを含むものはどれか。

- イ この改革は、シュタインが主導して開始され、のちにハルデンベルクによって受け継がれた。
□ 軍制度の改革はグナイゼナウやシャルンホルストラによって進められ、一定の年齢の男子全員に兵役義務を課すいわゆる一般兵役義務が導入された。
ハ 教育制度の改革はフンボルトが中心になって進められ、その一環としてベルリン大学が創設された。
ニ 農民解放が実施されて、農民はそれまでの耕作地を無償で入手できるようになった。

3 下線部 e の会議の結果についての説明のうち、誤りを含むものはどれか。

- イ フランス王国・スペイン王国・ナポリ王国（両シチリア王国）ではブルボン家の君主が王に復位した。
□ フランスは、当初は1792年当時の東部国境線を認められていたが、会議の途中でナポレオンが皇帝に復位したために、最終的には1790年の国境線とされた。
ハ イギリスは、ケープ植民地をオランダから獲得し、さらにセイロン（スリランカ）をフランスから獲得した。
ニ フランスの支配から解放されたオランダは、オーストリア領ネーデルラントを併合して、オランダ立憲王国（ネーデルラント王国）となった。

4 下線部 f の革命に関連した以下の説明のうち、誤りを含むものはどれか。

イ 革命がドイツの各地にひろまったのを見て、当時亡命していたマルクスとエンゲルスは『共産党宣言』を発表した。

ロ フランスでは、革命後の臨時政府に社会主義者のルイ＝ブランが参加したが、1848年4月の総選挙で社会主義勢力は惨敗した。

ハ コシュートを指導者とするマジャーール人勢力は、1849年の4月に独立を宣言したが、同年8月にロシア軍とオーストリア軍に鎮圧された。

ニ イタリアでは、サルデーニャ王カルロ＝アルベルトがオーストリアに宣戦したが、敗北して退位し、ポルトガルに亡命した。

5 下線部 h の国の当時の皇帝は、どれか。

イ ニコライ1世 ロ アレクサンドル1世 ハ アレクサンドル2世 ニ アレクサンドル3世

B 下記の問い1～4について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

1 空欄 a に入る家名を記せ。

2 空欄 b に入る地域名を記せ。

3 空欄 g に入る王名を記せ。

4 空欄 i に入る地域名を記せ。

V

次の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

日清戦争敗北によって触発された中国清末の政治的激動の中で、東京（横浜などの周辺地域を含む）は反政府運動の最大の策源地であった。革命派の孫文と改革派の梁啓超とに代表される亡命政客にとって、東京は、中国と距離的に近い上に、ある程度活動の自由が有り、かつ活動の展開に不可欠の人材と資金と情報が獲得しやすいという点で、きわめて魅力的な場所だったのである。

東京が反政府運動の舞台になるきっかけは、変法運動に失敗した梁啓超が日本に亡命したことに求められるが、最大の策源地に成長したのは20世紀初頭のことで、その原動力は急増した中国人日本留学生である。義和団事件で衝撃を受けた清朝政府は「新政」と呼ばれる制度改革を開始し、その改革のモデルとなった日本に留学する中国人がしだいに増加していったが、その傾向に決定的に弾みをつけたのは1905年の科挙の廃止で、同年の中国人日本留学生は8千人に達し、その大部分が高等教育機関の集中する東京に集まった。立身出世が目的で来日した者が多かったとしても、明治日本に蓄積された西洋学術に触れ、また革命派と改革派の論争にも刺激され、一部の留学生は、新たな視点で中国の現状を評価し始め、急速に政治化していった。こうした留学生の中から、その後の中国政治史で大きな役割を果たす人物も輩出していくのである。

（出典：佐藤慎一「政治運動の場としての『東京』」、川島真・服部龍二編『東アジア国際政治史』名古屋大学出版会、2007年、一部改変）

A 下記の問い1～5について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部 a に該当する、あるいは関連する①～④の出来事を年代順に記した正しい組み合わせはどれか。

① 日露戦争 ② 憲法大綱の発表 ③ 武昌蜂起 ④ 戊戌の政変

イ ④→①→②→③ ロ ①→②→④→③ ハ ④→①→③→② ニ ①→③→④→②

2 下線部 b の孫文に関連する次の記述のうち誤っているものはどれか。

イ 辛亥革命勃発後、清朝から革命軍との交渉をまかされた北洋軍実力者袁世凱は、孫文から臨時大統領の地位を譲り受けることを条件に皇帝を退位させた。

ロ 孫文が東京で革命諸団体を結集して結成した中国同盟会にも、多数の留学生が参加していた。

ハ 海外華僑の中には早くから孫文の革命思想に共鳴するものがあり、孫文が最初に結成した革命団体も、ハワイで華僑の支持を得て組織した興中会であった。

ニ 辛亥革命勃発時に米国にいた孫文は、帰国すると臨時大統領に選出され、1912年1月北京で中華民国の建国を宣言した。

3 下線部 c の梁啓超の師であり、ともに変法運動に従事した公羊学派の儒学者は誰か。

イ 曾國藩 ロ 洪秀全 ハ 康有為 ニ 魏源

4 下線部 e の義和団事件に関連する次の記述のうち誤っているのはどれか。

イ ロシアと日本を主力とする八カ国連合軍に屈服した清朝は、列強との間に辛丑条約（北京議定書）を結んだが、この条約で初めて清国内でのキリスト教の布教が公認された。

ロ 事件後、清朝が「新政」に踏み切らざるを得ない情勢の中で、各地には立憲派と呼ばれる勢力が台頭してきた。

ハ 事件決着後もロシアは中国東北地方に派遣した軍を撤退させず、朝鮮にも影響力を拡大しようとして日本との対立を深めた。

ニ 辛丑条約において、清朝は巨額の賠償金支払いとともに北京などへの外国軍隊の駐屯も認めさせられた。

5 下線部 f に該当する人物の一人に蒋介石がいる。蒋介石に関連する次の記述のうち誤っているものはどれか。

イ 中国共産党との内戦に敗れて中華民国政府と軍が台湾に逃げ込んだ後、敗北の責任をとって総統を辞任した。

ロ 第一次国共合作時、国民革命軍総司令として軍閥打倒の北伐を指揮した。

ハ 浙江財閥の支持を背景に上海で反共クーデターを実行し、まもなく南京国民政府を樹立した。

ニ 第一次国共合作後、国民党が共産党と再び接近するのは、蒋介石の一時監禁事件（西安事件）の後のことであった。

B 次の問いに答えよ。答えは記述解答用紙に記せ。

下線部 d 「戊戌変法運動」（「戊戌の変法」）に先行する清朝の改革の試みとして「同治の中興」期から推進された「洋務運動」がある。改革に関する両者の考え方の基本的な違いを120字以内で述べよ。その際、中体西用と明治維新の2つの言葉を必ず適切に用いること。句読点も1字と数える。なお、「戊戌変法運動」を「前者」と、また「洋務運動」を「後者」と略称してもよい。

VI

以下の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

1914年にオーストリアがセルビアに対して宣戦したことを契機に勃発した第一次世界大戦は、世界を大きく変え、その後の国際政治に対して決定的に重要な影響を与えた。第一に、戦争に敗北したオーストリア＝ハンガリー帝国とオスマン帝国が解体し、多数の独立国家が誕生した。オーストリア＝ハンガリー帝国の解体は東欧諸国の独立をもたらし、オスマン帝国の支配下にあった中東地域も、英仏の委任統治を経て独立を達成した。第一次大戦後は、アジアやアフリカでも民族自決を求める民族運動が展開されていった。たとえばインドでは、イギリスの植民地支配への反発が強まり、独立を求める運動が拡大した。こうした民族運動をへて、第二次世界大戦後にはアジアやアフリカ諸国が独立を達成していく。このように第一次大戦は、主権国家体制が全世界に広がっていく重要な契機となった。

第二に、ロシアでは、長引く戦争により国内が疲弊し、三月革命が起きてロマノフ朝が崩壊し、さらに「四月テーゼ」を発表したレーニンの主導により十一月革命が発生して、史上初の社会主義政権が成立した。ロシア内戦をへて1922年に形成されたソ連は、国内で一党独裁と計画経済に基づく社会主義体制の建設を進める一方で、革命を輸出するために世界各地の革命勢力・共産党を支援した。たとえば、アジアでは、で赤軍の支援を得た勢力が蜂起し、転生ラマを元首とする立憲君主体制が樹立され、1924年にはソ連に次ぐ第二の社会主義国となった。では1920年にアジア最初の共産党が成立し、1927年には反乱を主導した。では1930年に共産党が結成され、独立闘争の中心的存在となり、第二次大戦後には独立と社会主義体制の樹立を実現した。こうした革命思想の波及と共産圏の拡大に対し、米国は第二次大戦後、反共諸国に対する支援を積極的に行い、共産主義の封じ込めをめざす外交政策を展開するようになる。こうして、第一次大戦がもたらしたソ連の成立は、第二次大戦後の冷戦へとつながっていくことになったのである。

A 下記の問い1～5について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部 a に関連して、以下の記述のうち、各国が第一次世界大戦に参戦した経緯として適切なものはどれか。

- イ ロシアの指導下で1912年に結成されたバルカン同盟に加盟した国々はすべて、セルビアを支援するため、連合国側で参戦した。
- ロ イタリアは、当初中立の立場をとっていたが、三国同盟に基づき、1915年に同盟国側で参戦した。
- ハ 日本は、当初中立の立場をとっていたが、日英同盟に基づき、1915年に連合国側で参戦した。
- ニ オスマン帝国は、当初中立の立場をとっていたが、ロシアとの対立関係から、1914年に同盟国側で参戦した。

2 下線部 b に関連する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

- イ イギリス委任統治領パレスチナは、東西に分割され、東部にはトランスヨルダン王国が成立し、フセインの息子が国王に即位した。
- ロ イギリス委任統治領メソポタミアには、イラク王国が成立し、フセインの息子が国王に即位した。
- ハ フランス委任統治領大レバノンには、レバノン王国が成立し、フセインの息子が国王に即位した。
- ニ シリアでは、フセインの息子を国王とする王国が独立を宣言したが、フランスとの戦争に敗れた後にフランス委任統治領となった。

3 下線部 c に関連する以下の記述①～④を年代順に並べたものとして、適切なものはどれか。

- ① ローラット法の発布に対する抗議集会でイギリス軍が発砲し、多数の死傷者を出した。
- ② 新インド統治法(改正インド統治法)が制定され、連邦制と各州の自治制が導入された。
- ③ ラホールにおける国民会議派の大会において、「プールナ=スワラージ」が決議された。
- ④ 英印円卓会議が3回にわたり実施されたが、失敗に終わった。

イ a→c→d→b ロ a→d→c→b ハ d→a→b→c ニ d→b→a→c

4 文中の空欄 e～g に当てはまる語句の組み合わせとして、適切なものはどれか。

- イ e チベット f 中国 g ベトナム
- ロ e チベット f インドネシア g 中国
- ハ e モンゴル f インドネシア g ベトナム
- ニ e モンゴル f 中国 g ベトナム

5 下線部 h に関連する以下の記述のうち、適切なものはどれか。

- イ 1947年、トルーマン大統領がギリシアとユーゴスラヴィアを援助し、両国の共産主義化を阻止するという決意を示す宣言を行った。
- ロ 1948年、米国による経済復興援助を受け入れる西欧16カ国が欧州経済協力機構を結成した。
- ハ 1949年、ワシントンで北大西洋条約が調印され、米国、イギリス、フランス、西ドイツなどの12カ国により、集団安全保障機構が設立された。
- ニ 1949年、ソ連は、東欧経済相互援助会議とワルシャワ条約機構を設立した。

B 次の問いに答えよ。答えは記述解答用紙に記せ。

下線部 d のテーゼにおいて、レーニンは、三月革命後に発生した状況のどのような点を批判し、革命の方針としてどのような主張を行ったのか、120字以内で述べよ。その際、ブルジョワジー、プロレタリアート、ソヴィエトの3つの言葉をすべて必ず適切に用いること。句読点も1字と数える。

[以 下 余 白]